

2022 年度 春派遣 RU-APU、AIU-APU 国内交換留学プログラム募集要項

＜重要なお知らせ＞

今後の新型コロナウイルスの感染状況次第では、2022 春 Semester に派遣ができない可能性があることを理解した上で申請を行ってください。詳しくは 7 ページにあるプログラム共通事項の「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」でご確認下さい。

1. 国内交換留学プログラムについて

このプログラムは、立命館大学（RU）または国際教養大学（AIU）にて、一定数の学生が、1 Semester 期間または 1 年間、交換留学生として在籍し、それぞれの大学の授業を履修する制度です。

＜国内交換留学 受入れ大学＞

立命館大学（RU: 京都府京都市、滋賀県草津市、大阪府茨木市）

国際教養大学（AIU: 秋田市）

2. 派遣先学部

● 立命館大学

- 衣笠キャンパス（衣笠:京都府京都市）
法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部
- びわこ・くさつキャンパス（BKC:滋賀県草津市）
経済学部、理工学部、スポーツ健康科学部
- 大阪いばらきキャンパス（OIC:大阪府茨木市）
政策科学部、経営学部

以下の学部は現在、募集していません。

映像学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、総合心理学部、食マネジメント学部、グローバル教養学部

＜注意事項＞

理工学部留学する場合

理工学部の専門学習に必要な学力を有することを前提に選考を行う。※別途学力審査の可能性あり

● 国際教養大学

国際教養学部（秋田市）

3. 派遣期間

● 立命館大学

- 交換留学 1 Semester または 1 年間

● 国際教養大学

- 交換留学 1 Semester または 1 年間

※派遣決定後の期間変更・延長は認められません。

※一度でも、国内交換留学（1 Semester/1 年間）に参加したことがある学生は応募できません。

4. 派遣人数

- 立命館大学：10 名（1 Semester）10 名（1 年間）
- 国際教養大学：1 Semester・1 年派遣合わせて 10 名

5. 出願資格

対象： 3～6 Semester 生 ※派遣時 4～7 Semester

※最終 Semester での留学はできません。

※3 回生編転入生は出願できません。

※2 回生編入生は、第 4 Semester から出願できます。

単位数の条件：修得単位数の合計が前 Semester × 14 単位以上

- 出願時 5 Semester 生の場合：4（前 Semester）× 14 = 56 単位以上修得

成績：通算 GPA = 2.50 以上

言語運用能力：

RU: 十分な日本語能力 ※下記の科目を修了程度

「日本語上級」

AIU： TOEFL 500 以上（ITP 可）、TOEFL IBT 61 以上、IELTS 6.5 以上

6. 学費・その他諸費用

APU の学費を納付します。請求時期、納付締め切りは現行と変更はありません。

派遣先大学の学費は免除されますが、宿舍(寮費など)、その他の諸費用は個人負担になります。

7. 住居

● 立命館大学

各自で手配する必要があります。

- 立命館大学生生活協同組合を通して現地のアパート紹介も可能です。
- インターナショナルハウスなど大学が運営する寮（衣笠・BKC・OIC）への入居が可能な場合があります。

（ただし、部屋に空きがある場合のみ。入居募集は派遣決定後に行います。）

詳細は下記の立命館大学の HP を参照してください。

http://www.ritsumeai.ac.jp/international/intl_students/life_info/

その他住居の情報は随時お伝えいたします。

● 国際教養大学

2021 年 9 月時点の情報です。下記内容及び金額は変更する場合がありますのでご了承ください。

【宿舍について】

校内の「グローバルヴィレッジ」、「さくらヴィレッジ」への入居を原則とします。宿舍の振り分けは国際教養大学が行います。

【料金について】

春学期 (1 学期の滞在期間 4.5 カ月：2022 年 4 月 1 日～2022 年 8 月 7 日)		
	グローバルヴィレッジ (GV) 月 52,000 円	さくらヴィレッジ (SV) 月 45,000 円
部屋代 (光熱費込み)	234,000	202,500
食費 (2 週間)	14,670	14,670
退去時清掃費	8,500	8,500
寝具レンタル ※週 1 回のカバー (シーツ) 交換あり	10,350	10,350
活動費	10,000	10,000
合計	277,520 円	246,020 円

【食事について】

入寮後の経過観察期間（最初の約 2 週間）は外出などの行動制限が伴いますので、カフェテリアから弁当（朝食・昼食・夕食）を購入していただきます。

経過観察期間終了後は、朝食と夕食の弁当ミールプランを購入することが可能です。

※期間は 1 か月単位。10,000 円～25,000 円のプランです。

昼食時は、カフェテリアを利用（現金またはプリペイドカード）できます。

部屋での調理が可能です。（ただし調理用具は各自準備が必要）。

【寝具について】

敷布団、掛け布団、毛布、枕、それぞれのカバー（シーツ）・・・合計 8 点（週 1 回のカバー（シーツ）の交換あり）

【部屋の備品について】

GV・SV：冷暖房設備、ベッド、机、イス、棚、デスクランプ、冷蔵庫、IH クッキングヒーター、電子レンジ

【その他】

インターネット接続可能（無料）、GV・SV：無線 / 有線

GV・SV とともに、敷地内のコイン式ランドリールーム使用可能（24 時間、有料）。

GV・SV の部屋は個室。SV は洗面所・浴室・トイレ・台所をハウスメイトと共同で使用。

8. 奨学金

APU 減免奨学金（国内・国際）の継続受給については、学業成績が2セメスター連続して継続審査基準を下回ったとき、取消しになります。これは留学期間中も同様です。また、単位数は、留学先で取った単位数そのものではなく、APU で単位認定された後の単位数のみが審査対象となります。留学終了後は、すぐに単位認定の申請を行ってください。

奨学金に関する詳細は、各自でスチューデント・オフィスに問い合わせてください。

奨学金の種類	対象	継続受給
A P U国内学生優秀者育英奨学金	国内学生	可
A P U国内学生修学奨励奨学金	国内学生	可
国際学生授業料減免制度	国際学生	可
学習奨励費（J A S S O）	国際学生	不可
日本学生支援機構（J A S S O貸与）	国内学生	可
その他の奨学金	個別相談	

9. 履修可能科目および単位数

- 立命館大学
 - 出願した学部が提供する科目以外の受講は、原則認められません。
 - 講義科目、および小集団科目の受講を認めます。但し、学部によって定められている受講制限科目があります。受講制限科目については5 ページで詳しく記載します。
 - 一部の学部で配当回生の制限があります。
 - 英語開講の講義は若干数です。
 - 受講定員や本人の学修履歴、あるいは学修計画などにより、派遣学部において履修科目登録時に個別指導を行います。

＜注意事項＞

RU では英語開講科目がほとんどありません。日本語基準学生は、英語開講科目を計画的に履修して下さい。

派遣中の履修登録制限はありませんが、1 セメスターにつき 20 単位程度の登録を推奨します。

- 国際教養大学
 - EAP 科目(英語集中プログラム) の履修はできません。その他にも履修制限や前提条件がある場合があるので、時間割やシラバスで詳細を確認してください。
 - 配当回生の制限はありません。
 - 原則全て英語開講となります。※日本語開講科目は殆どありません。
 - 開講科目には定員、又は教室定員が設けられています。(原則、AIU 正規学生が優先的に登録するため履修できない場合があります。)

10. 単位認定

RU または AIU で修得した単位は、在学中の全ての単位認定を含め、60 単位を上限として認定します。

- 単位認定の原則
 - 派遣先大学の単位は原則として分野名として認定されます。
 - 原則として学修分野の集計には含まれません。ただし、APS は 10 単位を上限として学修分野ごとの専門教育科目として認められる場合があります。
 - APM は AACSB、EQUIS、EPAS 等の認証を受けている大学に留学することを強く推奨しています。しかし、立命館大学および国際教養大学はこれらの認証校には該当しません。
派遣先での自学部専門科目が単位認定の審査の結果、APM の専門教育科目として認定されとは限りません。
 - 留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、教学部にて審査を行なった上で単位認定を行ないます。

- 認定時期

派遣先の履修登録直後に「単位認定見込願」の提出が必要です。これを基に、留学先での履修科目の認定分野を確認することができます。

留学終了後、「単位認定願」の提出を経て、APU での履修を開始するセメスターの修正期間 2 に成績に反映されます。詳しくは内定者ガイダンスで説明します。

- 認定単位数

原則として、留学先で修得した単位は全て認定可能です。ただし、APU の開講科目と全く関連性のないもの（体育、芸術など）の単位認定は原則として行ないません。

単位認定の上限は APU の履修科目登録上限単位数に准じます。

- 成績評価

単位認定された科目の成績評価は T 評価（=Transfer）となります。これらは GPA に加算されません。

【卒業までに APU で単位認定できる上限】

T (Transfer) credits : 60 単位

(例)

海外留学による履修科目の認定、入学前履修科目の認定、言語科目の単位認定、放送大学

11. 留学中の APU 演習科目について

5、6 セメスターで留学する場合は、3 回生演習を受講出来ません。7 セメスターで留学する場合は、4 回生演習科目の「卒業研究／卒業研究 I」の遠隔指導を受講することが出来ます。7 セメスターで留学中に遠隔指導でゼミを受講したい場合には、アカデミック・オフィスウェブサイトの『3・4 回生学部演習ページ』(<https://www.apu.ac.jp/academic/page/content0059.html/?c=17>) >これから交換留学を考えている方 にて詳細を確認し、留学前に担当教員からの許可を得たうえで『遠隔指導同意書』を提出してください。ご不明点がございましたら、アカデミック・オフィス演習担当 (seminar1@apu.ac.jp) までお問い合わせください。

12. 募集スケジュール

出願期間：10 月 6 日（水）～22 日（金） 16：30 締め切り

書類選考結果発表及び面接日程通知：10 月 25 日（月）

面接期間：10 月 26 日（火）～ 10 月 28 日（木）

派遣決定者発表：12 月 1 日（水）

派遣者ガイダンス：12 月 8 日（水）

※詳細は追って対象者にお知らせします。

13. 出願・選考手続

- 選考（書類審査および面接審査）

言語運用能力、志望理由、成績（GPA）などの提出書類、および面接によって総合的に選考します。

- 申請方法

以下 2 つの Step を行ってください。2 つの Step とも完了しない場合は、申請不備となり受付することができません。 注意してください。

Step 1: 以下[アカデミック・オフィスのウェブサイト](#)から申請してください。

- 申し込みサーベイよりオンラインで申請
- 注意事項（上記ページ参照）ウェブ申請に関する注意事項をまとめています。
申請前に目を通してください。
- 顔写真を撮ってアップロードする必要があります。
- TOEFL スコアの写しをアップロードする必要があります（AIU のみ）

申請期間： 10 月 6 日（火）～22 日（金） 16：30 締め切り

Step 2: 以下の書類をアカデミック・オフィスまでに送付してください。書式は[アカデミック・オフィスのウェブサイト](#)からダウンロードすることができます。

1) 経費支弁書

注意：上記の書類は、申請者の保護者および経費支弁者による署名・捺印が必要です。書類は原本を提出してください。

提出締め切り：2021 年 11 月 4 日(木) 16:30 必着

*申請締め切りとは異なりますので、注意してください。

14. その他事項

その他の事項については以下の「プログラム共通事項」を参照してください。ただし、本プログラムは 1.-3.に該当しません。

15. 問い合わせ

アカデミック・オフィス B 棟 1 階

担当： Jacob（ヤーコブ）・三代（みしろ）

【派遣先大学のウェブサイト】

- 立命館大学

<http://www.ritsumei.ac.jp/>

- 国際教養大学

<http://web.aiu.ac.jp/>

履修制限について

(1) 全学部共通制限科目（履修不可科目）

- ① 全学副専攻
外国語コミュニケーションコース・・・受講不可
- ② 教職課程科目
- ③ 外国語科目
- ④ 留学生対象の日本語科目
- ⑤ 通年科目（通年在籍学生は可能）、小集団科目等の演習科目（学部により一部可能）、夏期集中科目（通年在籍学生は可能）、大学コンソーシアム単位互換科目
- ⑥ 所属学部で許可されている他学部受講科目以外の他学部科目
- ⑦ 留学プログラム（海外スタディ、異文化理解セミナー等）
- ⑧ インターンシップ（全学インターンシップ等）

(2) 全学部共通制限科目（一部制限のもと履修可能科目）

- ① 教養科目：原則として受講可。ただし、受講登録方法が、抽選科目登録もしくは選考科目登録となっている授業は、定員が設定されているため、正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合のみ受講可。

(3) 各学部独自制限科目

- ① 法学部
 - ・ 専門科目・・・原則として各科目の配当回生に従って受講できる。
ただし、下記科目は受講不可。
「社会に生きる法」（1回生配当）
演習科目（「特修〇〇法」などを含む）
実習関連科目（「公共政策実習」・「法務実習」等）
※ 法学を初めて学修する学生は、1・2回生以上配当の基礎的な科目を履修することを推奨。
※ 1年間留学する学生は履修相談を踏まえ、専門演習ⅠⅡ・卒業研究を除く演習科目についても、選考の上、受講を認める場合があります。
- ② 経済学部
 - 原則として全ての科目受講を認める。ただし、半年間留学する学生は、演習科目について受講不可とする。（1年間留学する学生は履修相談の中で受講を認める場合もある。）
- ③ 経営学部
 - 原則として全ての科目の受講を認める。ただし、選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。また、半年間留学する学生は、「専門演習」が受講不可。（1年間留学する学生は、選考の上、受講が可となる場合があります。）
- ④ 産業社会学部
 - 通年開講科目
 - ・ 基礎演習：受講不可
 - ・ 企画研究：担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。
 - ・ ゼミナールⅠ・Ⅱ：担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。
 - ・ 卒業研究：受講不可

資格取得の目的のために開講されている以下の科目：受講不可

- ・ 子ども社会専攻の「教科教育」の科目と「実習科目」
- ・ 社会調査士プログラム履修者のための科目
「社会調査士Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会調査情報処理」
- ・ 社会福祉士課程のための科目
「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会福祉援助技術現場実習」
- ・ 外国語科目：受講不可。必修外国語（12単位）は、部分的な科目の履修は認めない。
- ・ 産業社会学部英語副専攻：受講不可
産業社会学部英語副専攻はパッケージで単位の認定を行うため、部分的な履修は認めない。また、産業社会学部英語副専攻を基礎とした履修モデル「グローバル・フォーカス」の履修指定科目のうち「国際セミナーⅠ・Ⅱ」「国際社会入門」の履修は認めない。
- ・ 上記の他、一般講義系科目の受講を認める。

⑤ 国際関係学部

- ・ 基礎演習および1・2回生必修外国語：受講不可とする。
- ・ 専門外国語：原則、受講可とする。ただし、Academic SkillsⅠ～Ⅲは受講不可とする。
- ・ 専門演習：受講時に3回生（在学第5セメスター目）以上であることを前提とし、定員に空きのあるクラスのみ事前に課題レポートを提出し選考の結果、受講を許可する。半期の交流学生で希望があった場合は、オブザーバーとしての半期の聴講を認める場合がある（単位認定はしない）。この場合、担当教員が所定の志望理由書をもとに選考を行なったうえで、許可を得ることが条件となる。

⑥ 政策科学部

- ・ 演習科目：
「研究実践フォーラムⅠ・Ⅱ（2回生）」、「政策構想演習Ⅰ・Ⅱ（3回生）」は、希望があれば受講を認める。ただし、担当教員の許可を得ることが条件となる。
- ・ EPS科目・グローバル言語科目：定員の空いているクラスに対して受講可。
- ・ 情報技法科目：定員の空いているクラスに対して受講可。
- ・ 抽選科目は定員に空きがある場合のみ受講可。
- ・ CRPS専攻（英語基準）の科目を受講したい場合は、受講登録時に別途、政策科学部事務

室に相談すること。

⑦ 文学部

- ・ 基礎科目：抽選科目は定員に空きがある場合のみ受講可。
- ・ 文学部専門科目：各学域・専攻の学生のみ受講できる科目は不可とする。文学部生全員が受講できる科目のみ受講可とする。
- ・ 実験科目・実習科目、全学副専攻、イノベーション副専攻、エリアスタディ、文学部インターンシップ：受講不可
- ・ 演習科目・講読科目：許可制
- ・ 教職課程科目・学芸員科目・図書館司書科目・学校図書館司書教諭科目：受講不可

⑧ スポーツ健康科学部

- ・ 全学部共通履修制限科目に加えて、下記科目を受講制限科目とする。
「インターンシップ（国内）」
「インターンシップ（海外）」
「サービスマーケティング（専門）」
「クリニカル AT インターンシップ（海外）」
「クリニカル AT インターンシップ（国内）」
「スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ」
「スポーツ指導実習（健康運動指導士実習）」
「スポーツ指導実習（水泳）」
「解剖・生理学実習」
- ・ 定員の定められた科目に関しては、定員に空きのある場合に受講を認める。
- ・ 学部小集団科目である「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「研究入門Ⅰ」「研究入門Ⅱ」に関しては、学部で受講クラスを決定して受講を認める。同じく学部小集団科目である「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」「専門演習Ⅳ」に関しては、1年間のプログラム学生の場合には、受講可能な基礎知識の有無や定員の空き等を勘案して受講可否を決定する。半期のプログラムの学生の場合には、オブザーバーとして聴講を認める場合がある（単位認定なし）。
- ・ 外国語科目については、本人の履修希望を確認した上で履修を認めることがある。

⑨ 理工学部

- ・ 選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。

- ・ 小集団科目、演習、実験、実習等定員の定められている科目は選考の上、受講可否を決定する。

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいきません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

〔国際学生のみ〕

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チューデント・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 以下のいずれかに該当する場合、派遣の中止や内容の変更を行う場合があります。これらの可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

A) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報または感染症危険情報がレベル 2 以上である場合

B) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合

中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。

- C) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合
- D) 派遣地域の安全上の問題等により、APU が派遣中止、内容変更の判断をした場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリー・プログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不適当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「**4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し**」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- 1_プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- 2_プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。